

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計

公表:令和 5年 3月 15日 ート期間:令和 4年 4月 1日~令和 5年 3月 10日

事業所名 放課後リリークラブ 保護者等数(児童数) 23 回収数 18 割合 78 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	78%	22%	0%	中に入って見る事があまりない為、分からない	・人数に合わせて部屋分けをしております。活動に寄りスペース確保を行っています
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	83%	17%	0%		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	39%	56%	5%	分からない部分が多い	一軒家の為、バリアフリー対応はありません。階段には滑り防止を行っています
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	100%	0%	0%		
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	94%	6%	0%	課外活動が多くあり社会勉強にとっても良い	今後も活動のレパートリーを増やし室内での活動も楽しめる工夫を行って参ります
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	33%	45%	22%		
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%	0%	0%	質問した内容より多くの情報があり本当にありがたい	ありがとうございます。引き続き分かりやすく丁寧な説明を心がけて参ります
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%	0%	0%	学校からの引継ぎも丁寧で怪我等の処置までありがたいと思っている	ありがとうございます。引き続き保護者の方と協力できる環境で取り組んで参ります
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	89%	11%	0%		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6%	33%	61%	年1回でも開催して欲しい。学校とは違い発達に悩む親同士、話してみたい	状況を見て開催を検討して参ります
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	83%	17%	0%	意見がある時は話をするとすぐに動いてくれる	今後も苦情があった際は早急に職員会議を開き原因究明、解決に努めて参ります
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	94%	6%	0%		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	78%	17%	5%	子どもとインスタを見て活動時の話が出てくる	今後もInstagramにて日々の様子をお届けして参ります
14 個人情報に十分注意しているか	83%	17%	0%			
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	56%	39%	5%	マニュアルが不明の為、分からない	緊急対応時マニュアルに沿って行っていますご希望があれば開示いたします
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	72%	28%	0%	先生方や子どもからの話で定期的に開催しているのが分かる	毎年、年2回の防災訓練を行っています
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	94%	4%	0%	休みの日も行きたい！と言うほど楽しい 楽しい活動でなくても一生懸命取り組んでいる	いつもありがとうございます 今後も楽しみに通所してもらえよう努めて参ります
	18 事業所の支援に満足しているか	94%	4%	0%	大変満足している 子どもの成長を感じられて感謝している ずーっと通いたい	いつもありがとうございます 今後も子どもたちが笑顔で過ごせる環境作りに努めて参ります

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 15日

事業所名

放課後リリクラブ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	80%	20%	1部屋5~8人以下を指標としている	活動内容によって机や家具の撤去など安全に過ごせる環境設定を今後も行っていく
	2	職員の配置数は適切である	60%	40%		下校時間に寄っては待機人数に対しての職員数が適切でない為送迎に同行する体制で調整を行っていく
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0%	100%	一軒家の為、バリアフリーなし	玄関、階段、教室内にはジョイントマット等で滑り止め対策を行っている
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	毎月の定例会議にて研修を取り入れている	実技研修やグループワークなどの勉強会も取り入れていきたい
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	引き続きHPにて公開していきます	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	80%	20%		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	80%	20%		
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	80%	20%	項目の見直しや改善を行っている	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	集団活動への参加が難しい場合には個別での課題を立て対応している	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	80%	20%	業務前に朝礼、申送りをを行い1日の流れを把握している	日々の問題、課題については引き続きLINEにて情報共有を行っていく
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	80%	20%	勤務体系により直接の打合せが難しい場合にはLINE共有を行っている	共有忘れが出ないよう業務の終わりには1日の振り返りし職員間での協力体制を取っていく
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	サービス提供記録にて記入をしている	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	定期的なモニタリングを実施しています	コロナウイルス感染対策の為、電話でのモニタリングとなっておりますが、今後は教室でお子さまの様子を見て頂きながらお話が出来る体制も整えていきたい
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	60%	40%		曜日で活動が固定されないよう5項目の活動を取り入れていくまた個別での支援内容を集団活動に活かせるよう工夫していく	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	60%	40%		担当者会議が行われていない。行われた際には支援内容を把握しているものが対応できるような体制を整えている	
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	随時、連絡共有調整を行っている		
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	100%		医療的ケアを必要としている児童の受入れは行っておりません	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 5年 3月 15日

事業所名

放課後リリークラブ

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	80%	20%	随時、連絡共有調整を行っている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	60%	40%		遠方に移動の場合等には情報共有が行われていない為改善できるよう努めている
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	60%	40%	希望者のある者は積極的に参加している	今後もオンラインでの研修に参加していく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	20%	80%	課外活動を少しずつ増やしている	外部との交流は難しいのが現状であるが感染対策を徹底しながら交流を増やしていきたい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	60%	40%	担当者のみ参加している	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	60%	40%	送迎時またはモニタリング時に行っている	講習という形は取れていないが日々の困り事を気軽に話せる環境を今後も整えていきたい
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		現状は出来ないが今後、感染予防対策を徹底、配慮した上で行っていきたい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	保護者LINE、電話等で対応している	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	80%	20%	活動表やイベント内容の告知を毎月LINEにて配布しております	保護者の方にはLINEにて情報共有をしているが児童に対しての発信が弱い為、改善していきたい
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	Instagramで写真を掲載する際はスタンプ等で顔を隠すようにしている	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	60%	40%	職員は入社時の研修にてマニュアル確認しております	保護者の方に対しては契約時の口頭説明のみとなっていた為今後、書面で掲示できるよう改善していく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	年数回、定例会議にて行なっている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	40%	60%		対象児童はおりません
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	80%	20%	契約時、保護者とアレルギー表を元に情報共有を行なっている	食物アレルギーのある児童には施設での昼食購入はお断りさせていただいていますおやつに関してはご家庭で食べた事のあるものを共有いただくか、持参していただく形を取っております
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%		